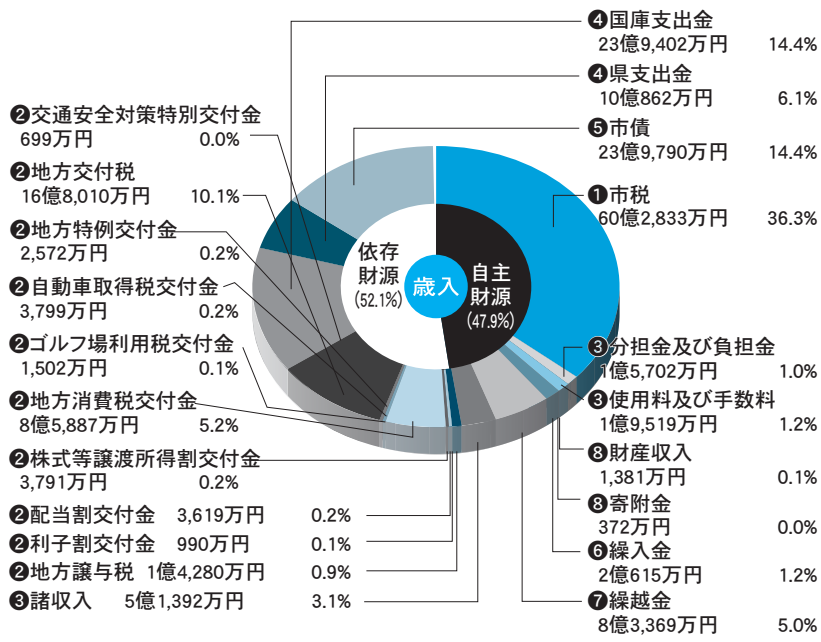
平成 27 年度 富里市の決算

平成 27 年度の決算が９月市議会で審議され認定されました。
決算は、市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われたのかを示すもので、まちづくりの記録でもあります。
市の会計には一般会計と５つの特別会計、そして水道事業会計があります。これらの会計で平成 27 年度に実施した事業の内容をお知らせします。なお、決算の詳しい内容については、市ホームページをご覧ください。
問財政課財政班　☎（93）１１１５

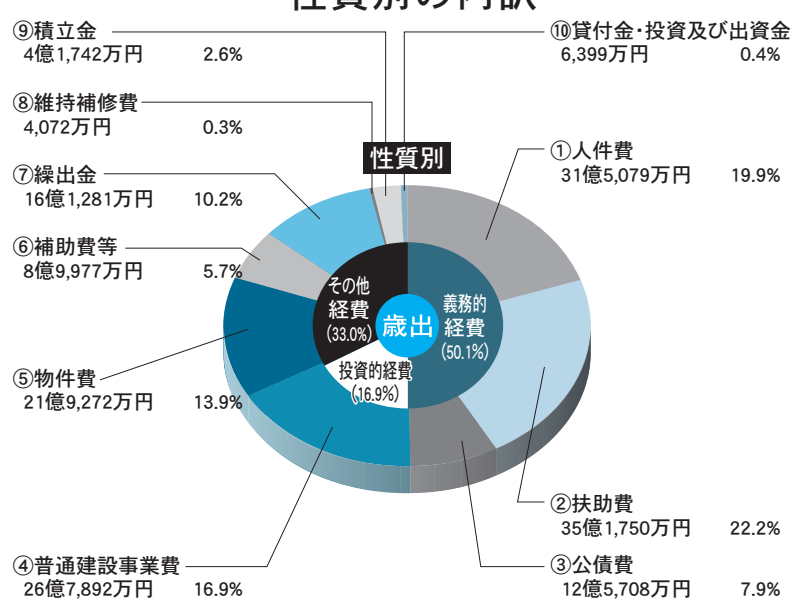
歳　入（１６６億３８６万円）



各数値は端数調整しています。また、丸数字は５ページの「家計簿に例えてみます」の各項目と関連しています。

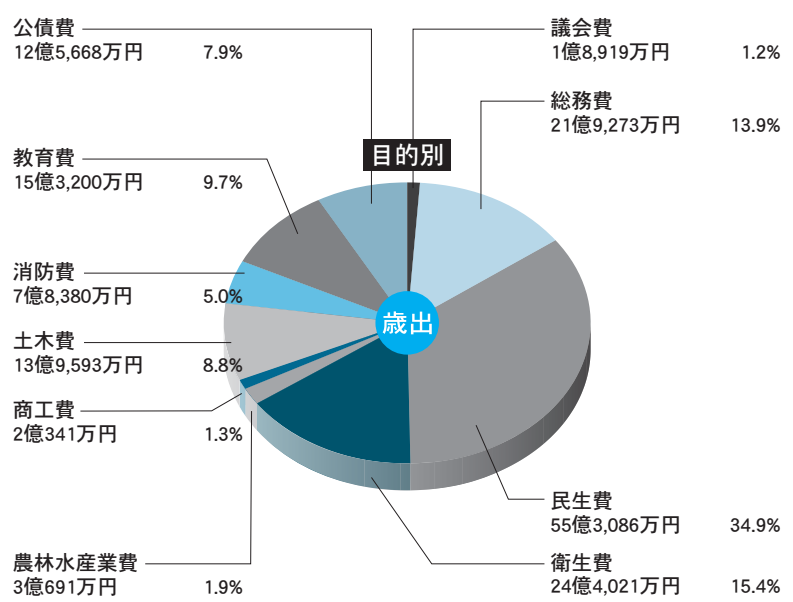
歳　出（１５８億３，１７２万円）

性質別の内訳



各数値は端数調整しています。また、丸数字は５ページの「家計簿に例えてみます」の各項目と関連しています。

目的別の内訳



各数値は端数調整しています。

「市民一人当たり」に使われたお金

３１７，２８８円（市民一人当たりの市税納税額　１２０，８１６円）

総務費 43,945 円

民生費 110,846 円

衛生費 48,905 円

農林水産業費 6,151 円

土木費 27,976 円

消防費 15,708 円

教育費 30,703 円

公債費 25,186 円

その他 7,868 円

※平成 28 年３月 31 日現在の人口４９，８９７人で試算

一般会計

歳　入

一般会計の歳入は、総額１６６億３８６万円で、前年度比０・８％増となりました。

市税　市民税などの減額により、前年度比２・０％減の60億２、８３３万円となりました。

地方交付税　前年度比３・０％減の16億８、０１０万円となりました。

地方譲与税　前年度比４・３％増の１億４、２８０万円となりました。

国庫支出金　学校施設環境改善交付金などで減になったものの、障害者総合支援給付費等負担金や国民健康保険基盤安定負担金などの増により、前年度比８・７％増の23億９、４０２万円となりました。

県支出金　児童手当負担金や生活保護費負担金などの増により、前年度比15・７％増の10億８６２万円となりました。

市債　学校給食センター施設統合事業の完了などにより、前年度比12・６％減の23億９、７９０万円となりました。

【都市計画税の使いみち】
都市計画税は、土地区画整理事業などの都市計画事業に要する費用に充てることを目的とした税です。
平成27年度の都市計画税２億７、４１３万円は、七栄新木戸地区土地区画整理事業、公共下水道の整備事業などの事業費５億５、８０７万円の財源として使われました。

歳　出

一般会計の歳出は、総額１５８億３、１７２万円で、前年度比１・３％増となりました。

総務費　前年度比６・８％増の21億９、２７３万円で、社会保障・税番号制度に係る情報システム管理事業などを実施しました。

民生費　前年度比７・６％増の55億３、０８６万円で、臨時福祉給付金給付事業・子育て世帯臨時特例給付金給付事業、生活保護事業、子ども医療費助成事業などを実施しました。

衛生費　前年度比36・６％増の24億４、０２１万円で、廃棄物処理事業をはじめ、乳幼児から高齢者まで生涯にわたる保健サービスの充実を図るため、新保健センター等建設事業などを実施しました。

土木費　前年度比16・０％増の13億９、５９３万円で、成田財特路線整備事業をはじめ、排水対策事業や七栄新木戸土地区画整理事業の推進、通勤や通学などに利用する生活基盤道路の環境整備として道路維持や公園緑地管理事業などを実施しました。

教育費　前年度比44・７％減の15億３、２００万円で、幼稚園就園奨励費補助事業、旧岩崎家末廣別邸保存活用事業などを実施しました。

その他　農林水産業費では、経営体育成支援事業をはじめ、新規就農者への支援金給付や、すいかの里生産支援事業によるすいか生産の奨励などを実施しました。消防費では、消防団車両整備事業などを実施しました。

家計簿に例えてみます

市の一般会計決算を、家庭の家計簿に例えてみました。
１年間の家計の収入と支出を、一般会計決算額の３千分の１とすると、次のようになります。

	収入		支出		
市税	❶給料（基本給）	２０１万円	①食費	１０５万円	人件費
地方交付税・譲与税・交付金	❷給料（諸手当）	９５万円	②医療費	１１７万円	扶助費
分担金・負担金、使用料・手数料、諸収入	❸パート収入	２９万円	③ローンの返済	４２万円	公債費
国庫支出金・県支出金	❹親からの仕送り	１１３万円	④家などの建築・改修など	８９万円	普通建設事業費
市債	❺ローン（借入金）	８０万円	⑤光熱水費	７３万円	物件費
繰入金	❻貯金の取り崩し	７万円	⑥保険料や会費など	３０万円	補助費等
繰越金	❼繰越金	２８万円	⑦子どもへの仕送り	５４万円	繰出金
財産収入・寄付金	❽その他	１万円	⑧車などの修理代	１万円	維持補修費
			⑨貯金	１４万円	積立金
			⑩貸付など	２万円	貸付金・投資及び出資金
収入合計		５５４万円	支出合計	５２７万円	

丸数字は、２ページの歳入・歳出のグラフの各項目と関連しています。

差し引き　２７万円

貯金残高　４９万円　　ローン残高　５６８万円

特別会計

歳入総額　１１１億４、９０９万円
歳出総額　１０７億９、４７８万円

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区別して経理する会計です。

前年度と比較して、歳入は９億２４３万円の増、歳出は11億１、５４８万円の増となりました。

これは、国民健康保険特別会計における国保広域化を見据えた保険財政共同安定化事業の制度改正による、拠出金９億３、０５４万円などの増によるものです。

水道事業会計

平成27年度の収益的収支は、３、７２２万円の黒字で、資本的収支は１億５、０７２万円の不足でしたが、この不足額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

なお、平成27年度末の給水人口は３万９、８８６人で、普及率は、80・３％です。

問 水道課　☎（93）３３４０

各会計の歳入歳出決算

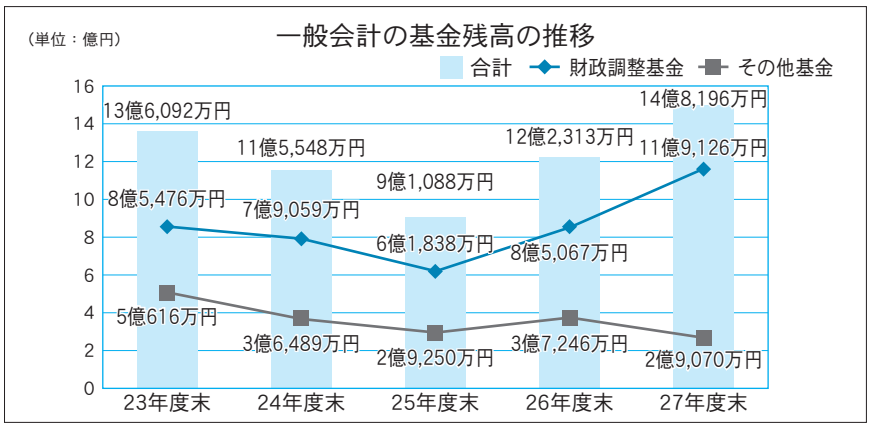
区分		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計		166 億　386 万円	158 億 3,172 万円	7 億 7,214 万円
特別会計	国民健康保険	76 億 1,162 万円	75 億 1,240 万円	9,922 万円
	下水道事業	7 億 9,676 万円	7 億 5,928 万円	3,748 万円
	介護保険	24 億 3,905 万円	22 億 2,472 万円	2 億 1,433 万円
	後期高齢者医療	3 億　126 万円	2 億 9,799 万円	327 万円
	公共用地取得事業	40 万円	40 万円	0 円
合計		277 億 5,295 万円	266 億 2,651 万円	11 億 2,644 万円
水道事業会計	収益的収支	9 億 9,616 万円	9 億 5,894 万円	3,722 万円
	資本的収支	2 億　27 万円	3 億 5,099 万円	▲ 1 億 5,072 万円

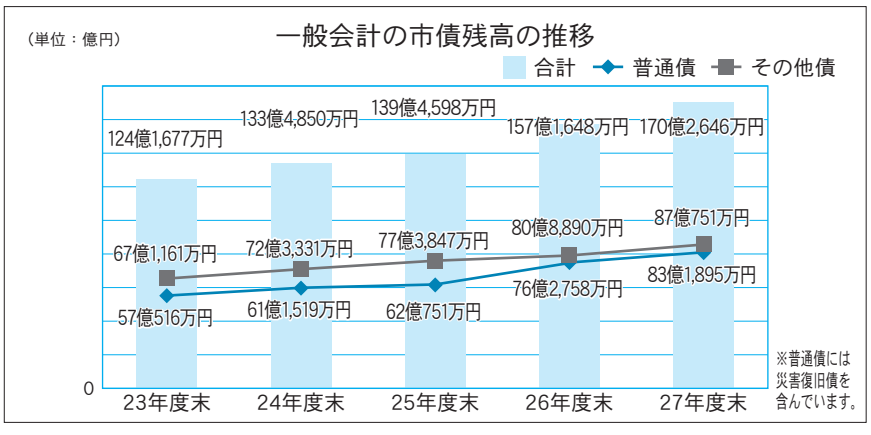
※水道事業会計は消費税を含みません。

市有財産の状況

区分	平成 27 年度末現在高
土地	1,397,175 ㎡
建物	119,214 ㎡
有価証券や出資による権利	18 億 1,336 万円
重要物品（車両など）	320 点

会計	区分	金額
一般	財政調整基金	11 億 9,126 万円
	その他特定目的基金	2 億 9,070 万円
特別	国民健康保険特別会計準備基金	3 億 7,446 万円
	介護給付費準備基金	4 億 9,106 万円
合計		**23 億 4,748 万円**



市債の状況

会計	区分	平成 27 年度末現在高
一般	総務債	6 億 9,826 万円
	民生債	3 億 5,619 万円
	衛生債	30 億 3,134 万円
	農林水産業債	1 億 2,103 万円
	土木債	19 億 3,945 万円
	消防債	4 億 3,641 万円
	教育債	19 億 9,314 万円
	災害復旧債	1 億 3,169 万円
	その他	83 億 1,895 万円
	計	170 億 2,646 万円
特別	下水道事業債	26 億 2,209 万円
	公共用地先行取得等事業	1 億 3,763 万円
水道事業	上水道事業債	15 億 8,788 万円
合計		**213 億 7,406 万円**